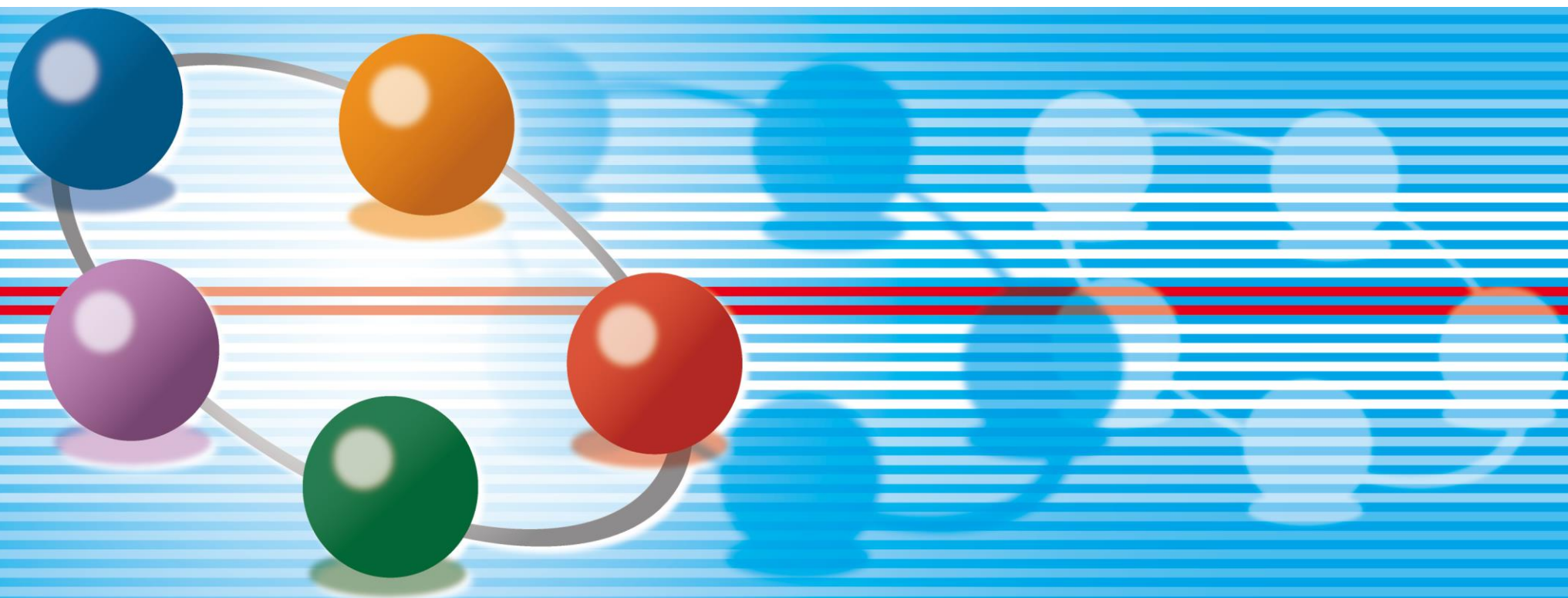




株式会社カワタ 2017年3月期第2四半期決算説明会資料

2016年11月28日

(証券コード 6292 東証第2部)



目次

I . 会社概要

II . 決算実績・業績予想

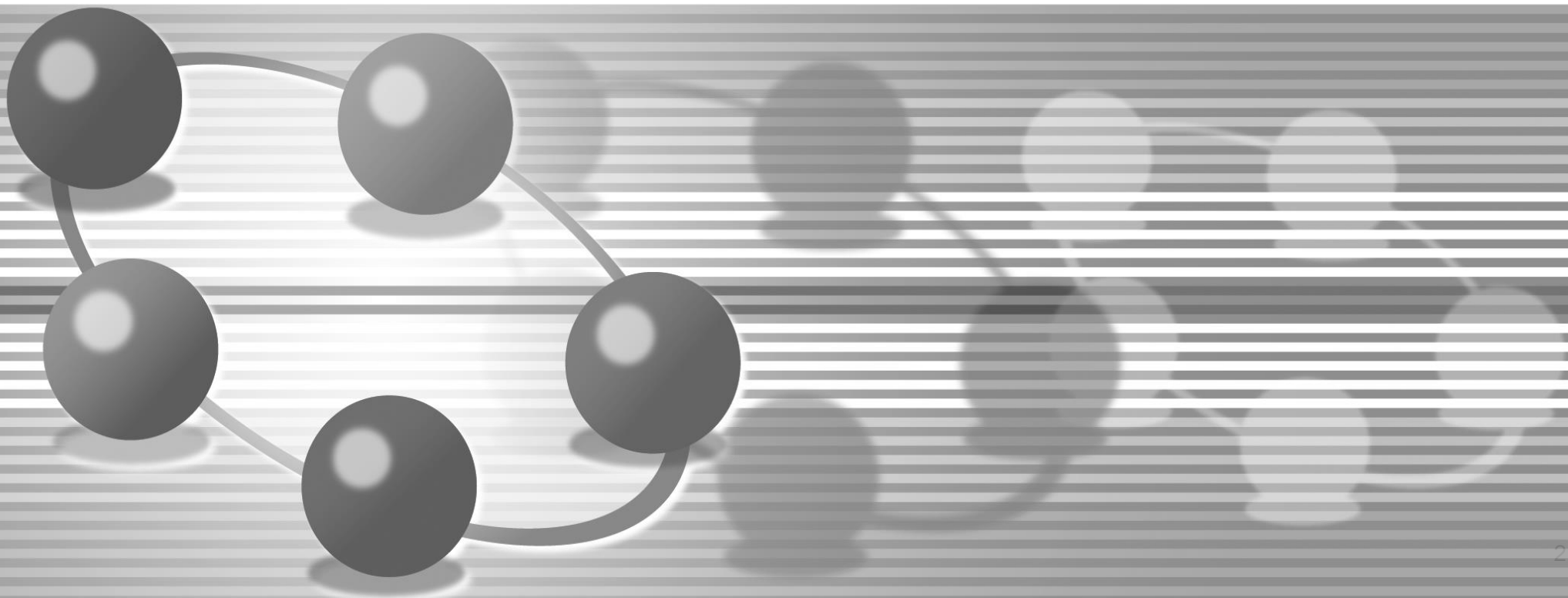
III . 経営戦略

Appendix. I

Appendix. II



I . 会社概要



1. 会社概要

会社名	株式会社 カワタ	Kawata MFG. Co.,Ltd.
本社	大阪市西区阿波座1丁目15番15号(第一協業ビル)	
創業	1935年9月10日	
設立	1951年7月13日	
事業内容	プラスチック成形機周辺装置等のプラスチック製造機器の製造、販売及びこれに関連するシステムエンジニアリングその他のサービス	
代表者	白井 英徳	
売上高	17,534百万円(2016年3月期、連結)	
経常利益	707百万円(")	
(親会社)当期純利益	787百万円(")	
資本金	977百万円(2016年9月末現在)	
従業員数	782名(")	
子会社数	15社(国内4社、海外11社) (2016年9月末現在)	



三田(さんだ)工場(兵庫県)

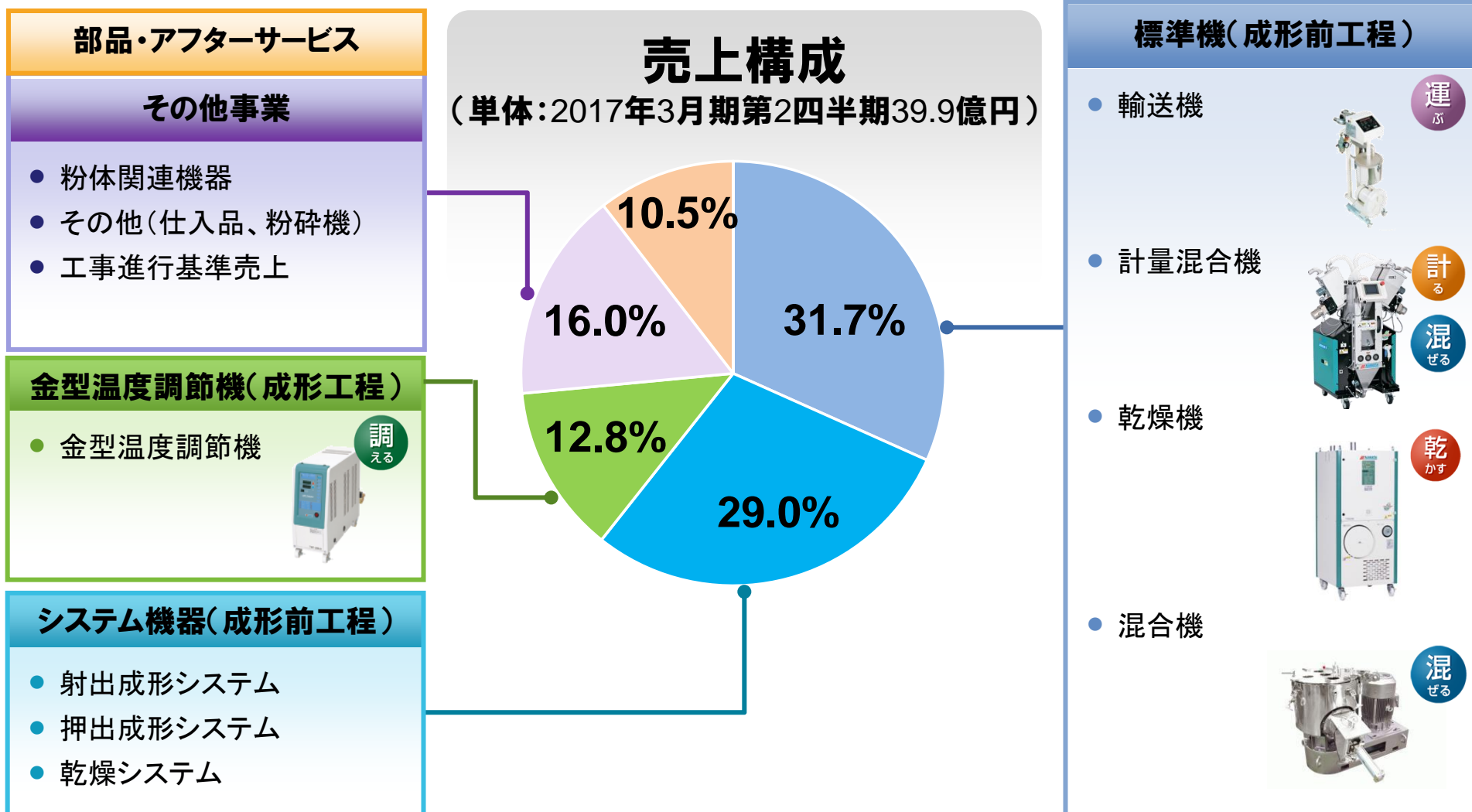
2. 事業内容:プラスチックを主とする製品製造工程の概要

- 事業内容:プラスチック成形機周辺装置等のプラスチック製造機器の製造、販売及びこれに関連するシステムエンジニアリングその他のサービス
- 5つのコア技術(運ぶ・乾かす・計る・混ぜる・調える)をもとにプラスチック製品製造における成形加工工程(主に原料供給工程)をシステムにて提供



3. 事業構成(単体)

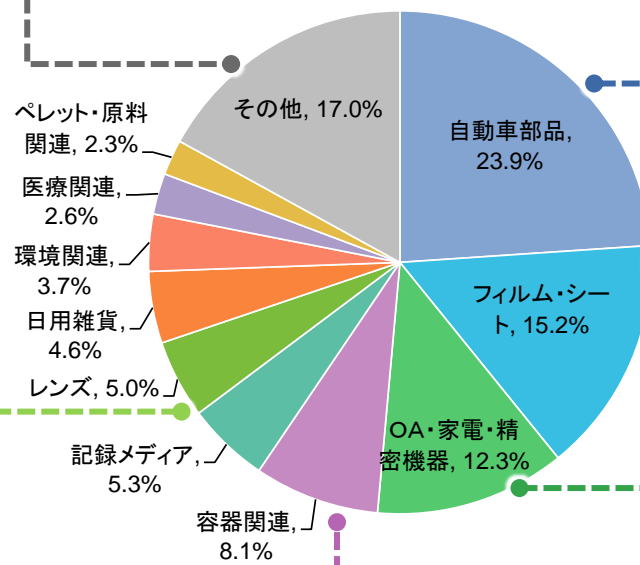
- プラスチック成形合理化機器関連事業、輸送・計量・乾燥・混合がコア技術
- コア技術を有機的に組合せた独自のハンドリングによるシステム装置が主力



4.主な販売業界

販売先別売上構成

(単体:2017年3月期
第2四半期 39.9億円)



その他



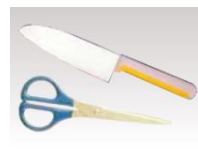
化粧品の予備混合



食品の添加剤混合



粉体金属



セラミック



トナー

自動車部品



自動車部品の成形

フィルム・シート



液晶部材の成膜工程前処理



食品ラップ

レンズ



スマホレンズ



車載用レンズ

容器関連

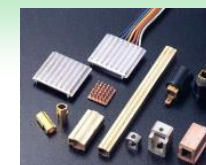


ペットボトル成形



プラスチック容器

OA・家電

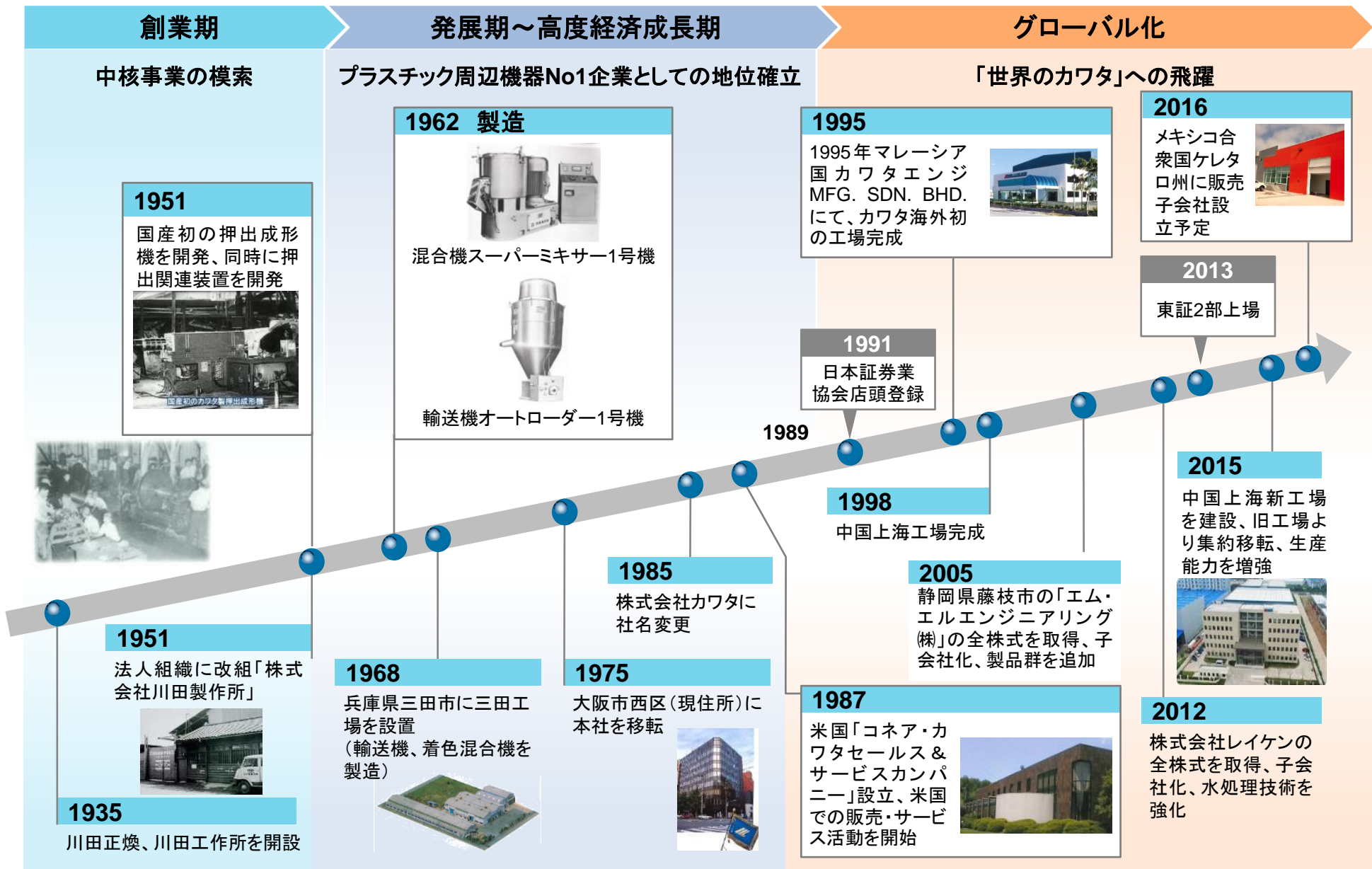


家電・電気部品の成形



電池材料の乾式混合

5.会社沿革



6.カワタグループ概要

- 国内外に15社の子会社



金型温度調節機器、水関連機器



株式会社レイケン



株式会社サーモテック

水関連機器

株式会社カンゲン

プラスチック製品製造機器の製造、
販売・サービス

エム・エルエンジニアリング株式会社



プラスチック製品製造機器



川田機械製造(上海)有限公司

川田機械香港有限公司

金型温度調節機器、水関連機器

冷研(上海)貿易有限公司



プラスチック製品製造機器

川田國際股份有限公司(台湾)



カワタパシフィックPTE. LTD. (シンガポール)
プラスチック製品製造機器の販売及びサービス業務



カワタタイランドCO., LTD.
プラスチック製品製造機器の販売及びサービス業務
レイケンタイランドCO., LTD.
水関連機器の製造及び販売



カワタマーケティングSDN.BHD. (マレーシア)
プラスチック製品製造機器の販売及びサービス業務



PT.カワタインドネシア
プラスチック製品製造機器の製造及び販売
PT.カワタマーケティングインドネシア
プラスチック製品製造機器の販売及びサービス業務



コネア・カワタセールス & サービスカンパニー



カワタマシナリーメキシコ S.A. de C.V.(予定)



Ⅱ. 決算実績・業績予想



1.決算概要総括

市場環境

国内

- 前年度後半より円高・株安が進み輸出や生産に足踏み感。企業収益や業況判断も悪化傾向

海外

- 先進国は緩やかな回復傾向ながらも、米国の利上げ、英国のEU離脱問題等による下振れ懸念あり
- 新興国の経済成長は、従来の拡大テンポから一段と緩やかに。また、紛争やテロ等の地政学的なリスクも存在

売上面

連結売上高
7,883百万円
(前年比▲13.3%)

国内

- 前年度に受注した海外向けの大型案件が寄与する一方で、国内製造業の設備投資には慎重な動き

海外

- 2015年半ば以降、中国の設備投資意欲が減退。好調であった台湾の電子部品関連にも一服感
- 東南アジアは総じて緩やかな回復傾向ではあるが、インドネシア、タイは弱含みで推移

利益面(費用面)

- 売上高の減少および為替の影響により、営業利益、経常利益とも減益。(親会社)当期純利益は前年度に特別利益があったことより大幅減益

営業利益
304百万円
(前年比▲49.5%)

- 売上高減少に伴い製造固定費単価が上昇し、売上総利益率が悪化(32.7→29.6%)。売上総利益は前年同期比6.3億円減少
- 中国における減価償却費の増加、東アジア、東南アジアにおける最低賃金増に伴う人件費増加はあるものの、販売費および一般管理費は前年同期比3.0億円減少

(親会社)当期純利益
122百万円
(前年比▲85.2%)

- 前年度は、特別損益において中国子会社における工場移転関連で差引5.0億円の収益を計上

2. 2017年3月期第2四半期決算実績

①損益計算書(P/L)(連結)

(単位:百万円、%)

	実績						コメント
	2016年3月期第2四半期			2017年3月期第2四半期			
	金額	構成比	前期比増減率	金額	構成比	前期比増減率	
売上高	9,088	100.0	19.5	7,883	100.0	▲13.3	<ul style="list-style-type: none"> 中国。台湾の景気減速による設備投資案件の減少 タイ、インドネシア経済の回復遅れ
売上総利益	2,970	32.7	25.1	2,331	29.6	▲21.5	<ul style="list-style-type: none"> 売上高減少に伴う製造固定費単価の上昇により売上総利益率悪化
販売費及び一般管理費	2,366	26.0	13.8	2,027	25.7	▲14.3	<ul style="list-style-type: none"> 諸経費の低減
営業利益	603	6.6	104.9	304	3.9	▲49.5	
経常利益	602	6.6	136.8	206	2.6	▲65.7	<ul style="list-style-type: none"> 急速な円高に伴い為替差損55発生
(親会社)当期純利益	825	9.1	429.6	122	1.6	▲85.2	<ul style="list-style-type: none"> 2016/3期2Q: 中国子会社における工場移転関連で差引506の特別収益を計上
減価償却費	90	-	12.4	130	-	44.1	
設備投資額	1,172	-	262.9	159	-	▲86.4	<ul style="list-style-type: none"> 2016/3期2Q: 中国子会社における新工場建設関連1,098

2. 2017年3月期第2四半期決算実績

②セグメント別売上高・営業利益(連結)

(単位:百万円、%)

(売上高)	実績						コメント
	2016年3月期第2四半期			2017年3月期第2四半期			
	金額	構成比	前期比増減率	金額	構成比	前期比増減率	
日本	5,630	55.5	13.2	5,661	67.0	0.6	<ul style="list-style-type: none"> 海外向けの電池関連の大型案件が寄与 国内製造業の設備投資には慎重な動き
東アジア	3,194	31.5	31.6	1,840	21.8	▲42.4	<ul style="list-style-type: none"> 中国における景気減速に伴う受注減 前年度好調の台湾の電子部品関連に一服感
東南アジア	1,169	11.5	39.2	745	8.8	▲36.3	<ul style="list-style-type: none"> ASEANの自動車産業の主力のタイ、インドネシアの需要が弱含み
北中米	153	1.5	▲12.0	207	2.5	35.3	

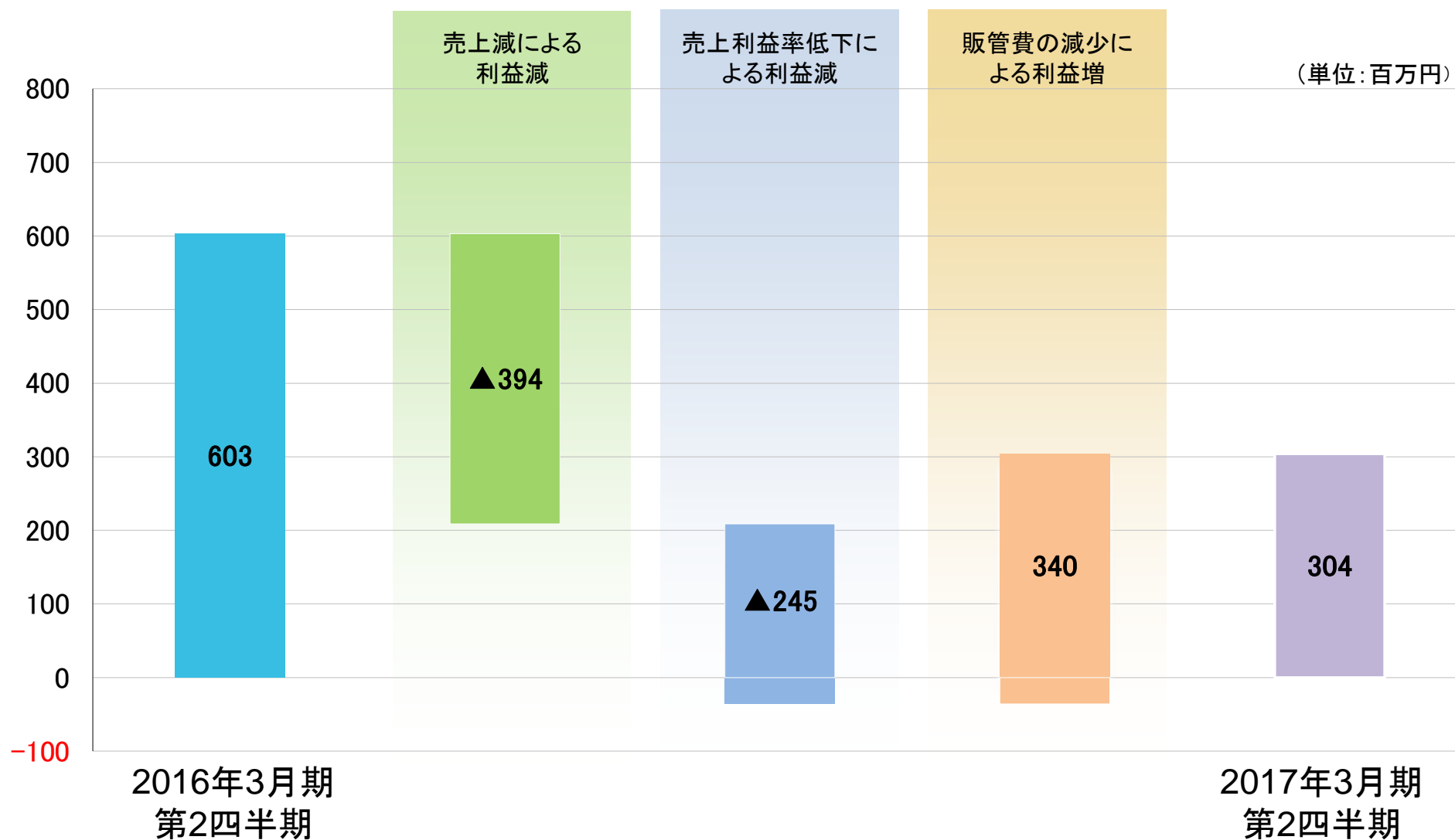
(営業利益)	実績						コメント
	2016年3月期第2四半期			2017年3月期第2四半期			
	金額	構成比	前期比増減率	金額	構成比	前期比増減率	
日本	448	74.1	123.2	455	167.0	1.6	
東アジア	126	21.0	48.1	▲141	▲51.9	-	<ul style="list-style-type: none"> 売上高減少に伴う売上総利益の減少 中国における減価償却費の増加40
東南アジア	29	4.9	-	▲44	▲16.1	-	<ul style="list-style-type: none"> 売上高減少に伴う売上総利益の減少
北中米	0	0.1	▲88.1	3	1.1	731.4	

(注)構成比は連結調整額を除いて算出

2. 2017年3月期第2四半期決算実績

③営業利益増減要因(連結)

- 売上減および売上総利益率の低下により売上総利益が減少。販売管理費は減少したが営業利益は298百万円減少



2. 2017年3月期第2四半期決算実績

④貸借対照表(B/S)(連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	増減額	コメント
流動資産	12,707	12,144	▲562	
現金及び預金	3,962	4,265	302	
受取手形及び売掛金	6,186	5,309	▲876	■ 主に売上高減少に伴うもの
たな卸資産	2,204	2,209	4	
固定資産	5,717	5,227	▲489	
有形固定資産	4,632	4,210	▲422	■ 建物及び構築物 2,692→2,385 ■ 機械装置及び運搬具 416→397
無形固定資産	424	359	▲65	
投資その他の資産	659	657	▲2	
資産合計	18,424	17,372	▲1,052	
	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	増減額	コメント
負債合計	10,623	10,089	▲534	■ 未払金、未払税金、前受金の減
(有利子負債残高)	5,246	5,364	118	■ 長期借入金の増
純資産合計	7,800	7,283	▲517	■ (親会社)当期利益 122 ■ 為替換算調整勘定 547→▲23
負債純資産合計	18,424	17,372	▲1,052	

2. 2017年3月期第2四半期決算実績

⑤キャッシュフロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額	コメント
営業活動によるキャッシュ・フロー	725	494	▲230	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上債権の増減額(▲は増加) ▲155→568 ■ たな卸資産の増減額(▲は増加) ▲14→▲171 ■ 仕入債務の増減額(▲は減少) 152→220 ■ 補償金の受取額(中国工場移転関連)299→ -
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲640	▲219	420	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有形固定資産の取得による支出 ▲1,172→▲159 ■ 有形固定資産の売却による収入 310→2 ■ 無形固定資産の売却による収入 157→ -
財務活動によるキャッシュ・フロー	26	188	161	<ul style="list-style-type: none"> ■ 短期借入金の増減額(▲は減少) ▲50→80 ■ 長期借入金の増減額(▲は減少)82→387 ■ 社債の増減額(▲は減少)68→▲220
現金及び現金同等物に係る 換算差額	29	▲160	▲189	
現金及び現金同等物の増減額	140	303	162	
現金及び現金同等物の期首残高	3,986	3,958	▲27	
現金及び現金同等物の期末残高	4,127	4,261	134	

3. 2017年3月期業績予想

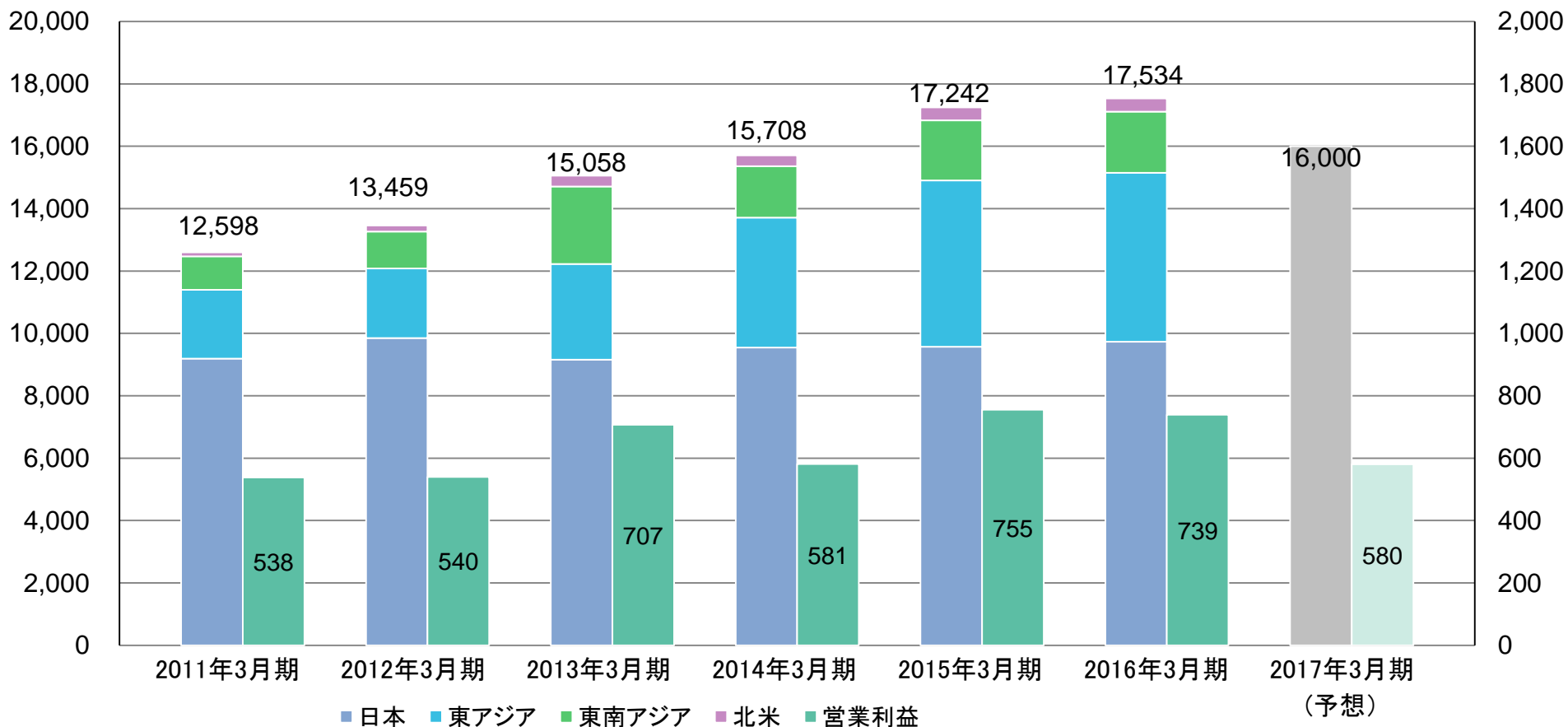
①連結業績推移

連結売上高
16,000百万円
(前期比▲8.8%)

- 日本、中国においては足元の受注は回復傾向だが、年度前半の受注減少が響く
- 台湾の電子部品関連需要は急回復が見込めない。タイ、インドネシアの景気も弱含み

営業利益
580百万円
(前期比▲21.5%)

- 原価低減と諸経費の削減を図るものの、売上高の減少をカバーするには至らず減益を見込む



3. 2017年3月期業績予想

②損益計算書(P/L)予想(連結)

(単位:百万円、%)

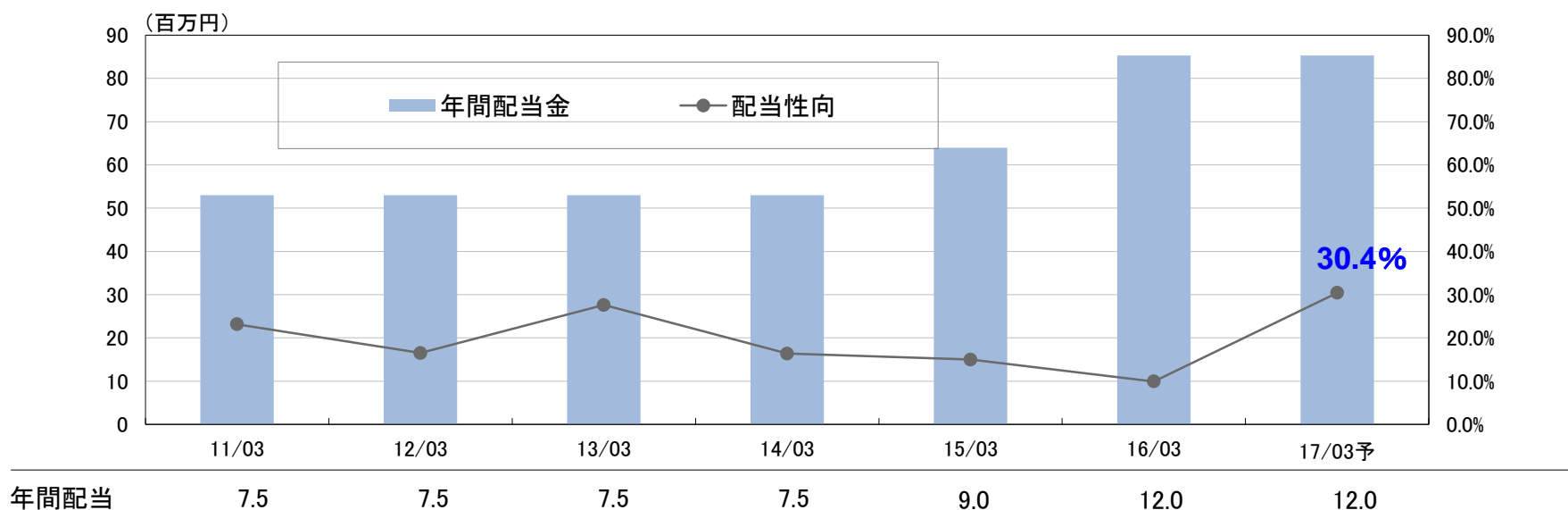
	2016年3月期			2017年3月期(通期)(予想)			コメント
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	
売上高	17,534	100.0	1.7	16,000	100.0	▲8.8	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本、中国は受注回復傾向だが、年度前半の受注減が響く ■ タイ、インドネシアは弱含み、台湾の電子部品も急回復は見込めず
売上総利益	5,437	31.0	0.6	4,667	29.2	▲14.2	<ul style="list-style-type: none"> ■ 売上高減少に伴う製造固定費単価の上昇により売上総利益率悪化
販売費及び一般管理費	4,698	26.8	1.1	4,087	25.5	▲13.0	<ul style="list-style-type: none"> ■ 諸経費の低減
営業利益	739	4.2	▲2.1	580	3.6	▲21.5	
経常利益	707	4.0	▲1.0	460	2.9	▲35.0	
(親会社)当期純利益	787	4.5	84.3	280	1.8	▲64.5	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2016/3期:中国子会社における工場移転関連で差引474の特別収益を計上
減価償却費	216	—	23.5	265	—	22.7	
設備投資額	1,055	—	▲5.4	300	—	▲71.6	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2016/3期:中国子会社における新工場建設関連929

4.配当政策

配当性向推移

配当方針

当社は従来の安定的な配当維持に加え、業績に連動した株主の皆様への還元を経営の重要政策のひとつとして位置づけております。また、中長期的には安定した事業成長を図り株主価値を持続的に向上させるため、業績の進展状況等を勘案し、新規事業開発や戦略投資等に内部留保資金を投下してまいります



株主優待

2015年12月18日開催の取締役会において、株主優待制度の追加導入を決議いたしました。

基準日	保有株式数	優待内容
3月31日	100株以上	QUOカード 500円相当分(追加導入)
	500株以上1,000株未満	1,000円相当の優待品、社会貢献活動団体への寄付
	1,000株以上	1,500円相当の優待品、社会貢献活動団体への寄付
9月30日	100株以上	QUOカード 500円相当分(追加導入)

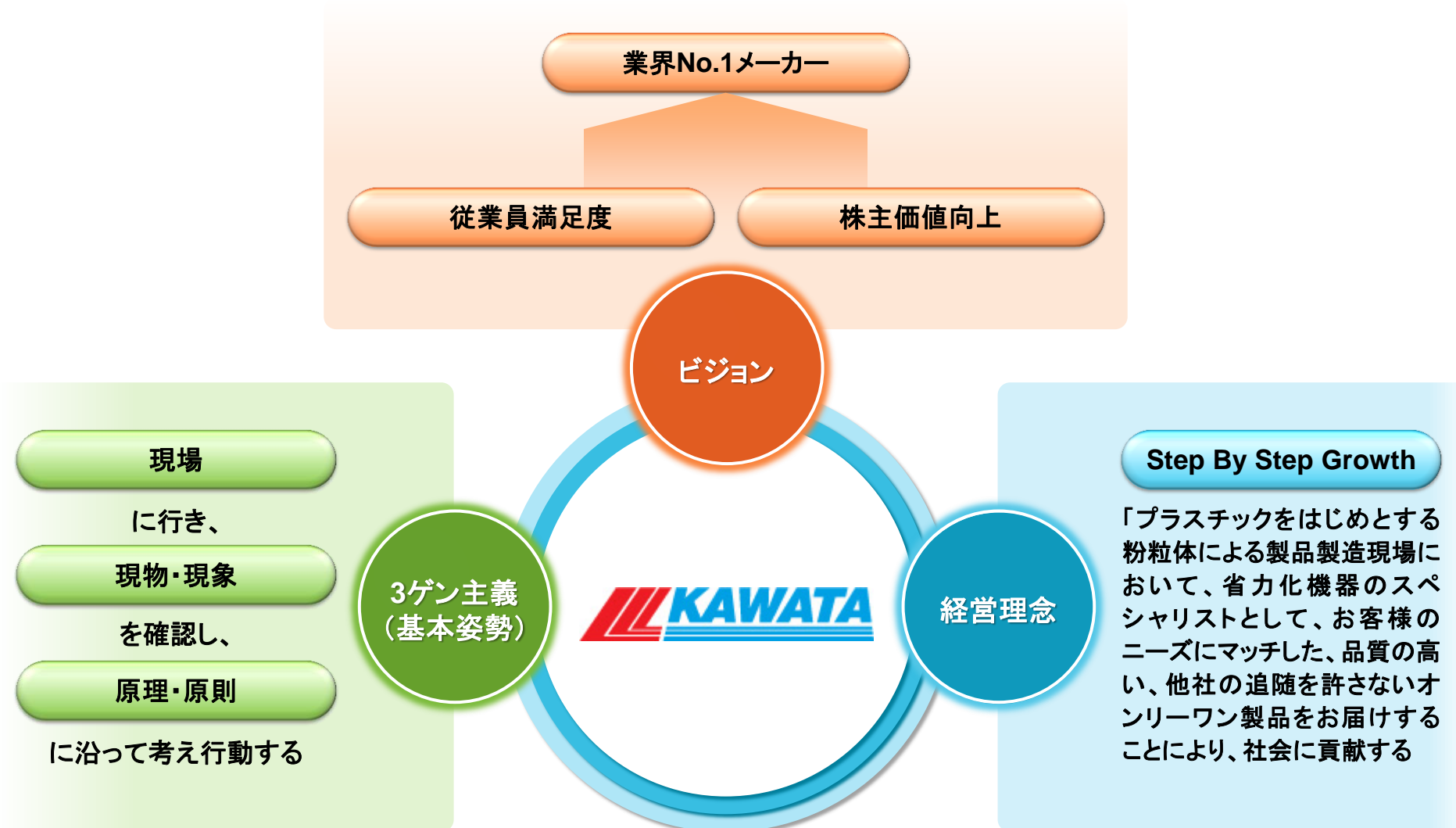


Ⅲ. 経営戦略



1.経営理念

3ゲン主義を基本姿勢とし、従業員満足度と株主価値を向上しながら、
グループの総合力を持って業界NO.1メーカーを目指します

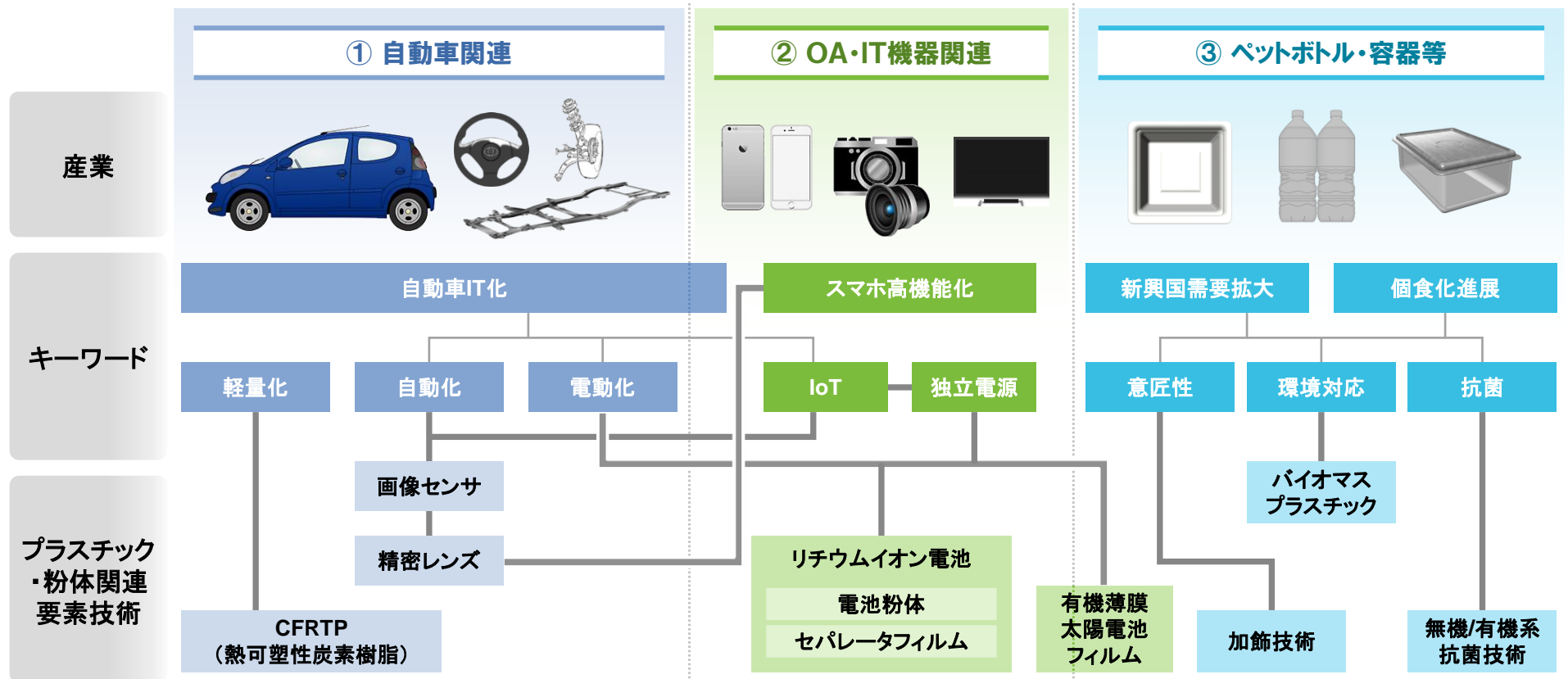


2. 事業環境

(1) プラスチック産業の動向

- 自動車関連・IT機器関連中心の技術革新・市場拡大に伴う、プラスチック部品・粉体の高品質化・高機能化への対応
- 周辺機器においては成形機器・素材の技術革新と連動した高機能性に加え省エネ、低コストが要求される
- 新たな要素技術への対応については、既存技術・製品にとらわれない上流～下流までを踏まえたシステム構築が必須

各産業の技術革新・市場拡大と対応するプラスチック・粉体の要素技術



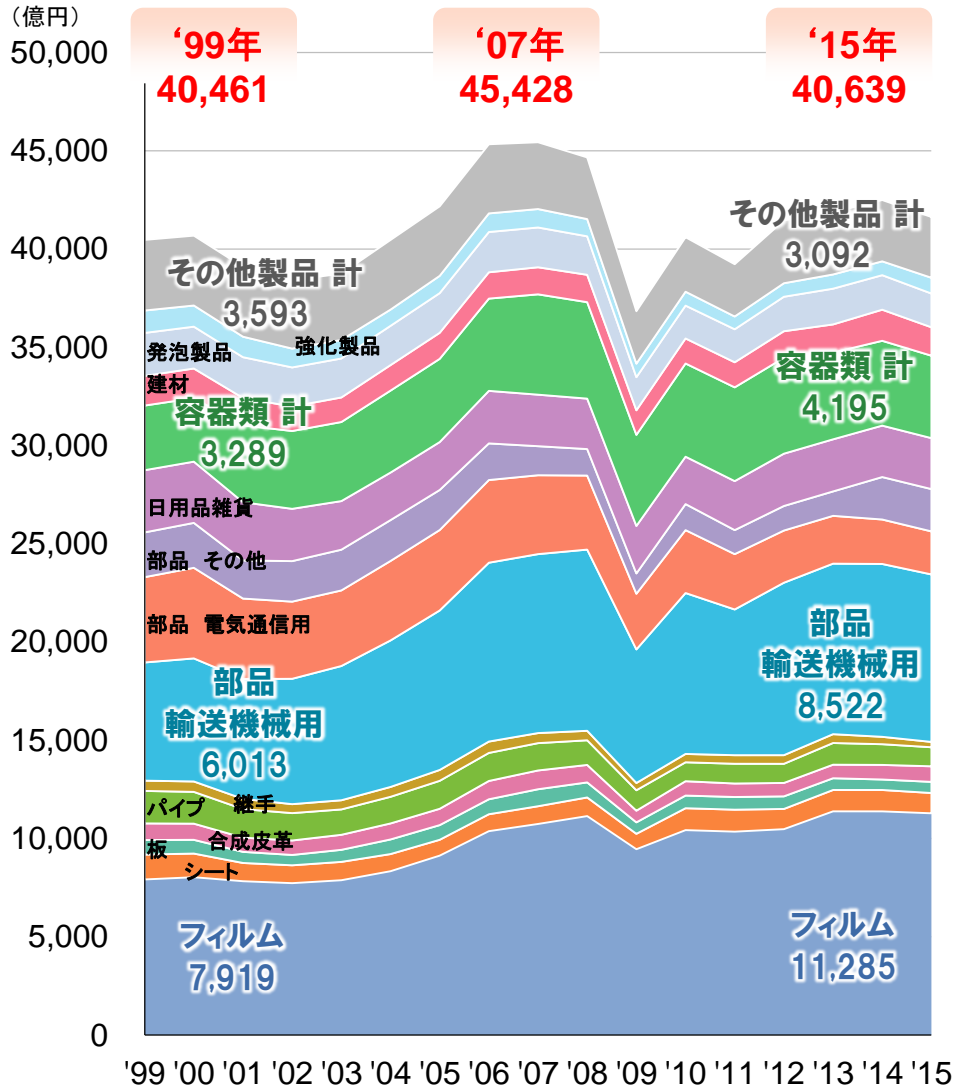
既存の技術や製品にとらわれることのない新技術への対応が課題

素材・成形機・周辺機器各メーカー協働による上流～下流までを踏まえたシステム提案の必要性

2. 事業環境

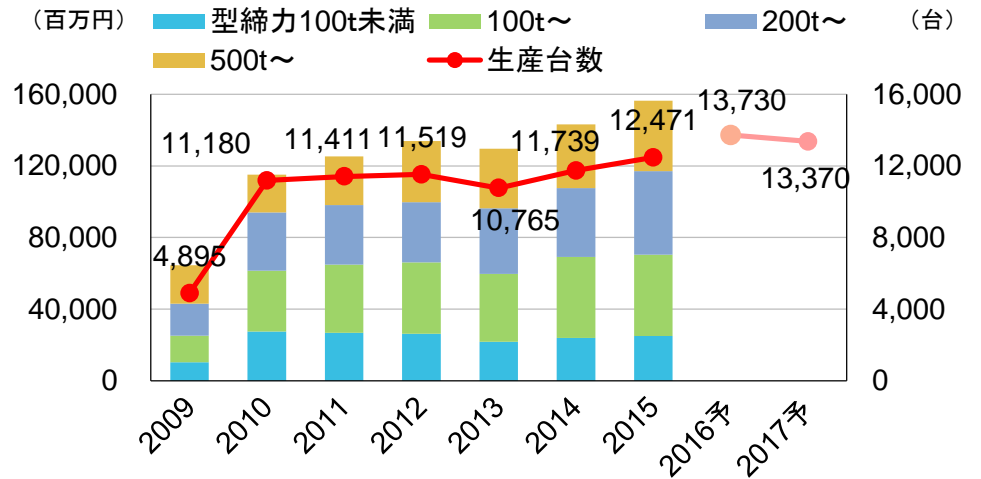
(2) プラスチック製品・成形機の生産動向

1999年～2015年 国内プラスチック製品販売実績



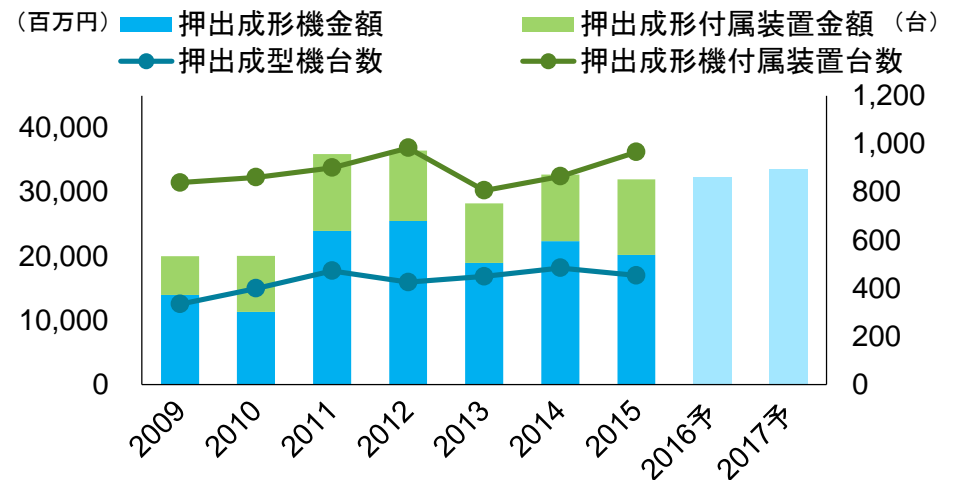
出所: 日本プラスチック工業連盟資料

射出成形機生産金額・台数推移



出所: 経済産業省 機械統計・生産動態統計(実績) 日本産業機械工業会(予測)
注)2015年迄実績については生産台数実績、2016年以降は出荷台数予測

押出成形機生産金額・台数推移



出所: 経済産業省 機械統計・生産動態統計(実績) 日本産業機械工業会(予測)
注)2015年迄実績については生産金額実績、2016年以降は需要金額予測

2. 事業環境

(3) 各エリア プラスチック・粉体関連機器需要動向

- 東アジアはIT関連を中心に需要に一服感はあるものの、日本国内における関連需要は堅調
- 中国の政策に基づく自動車関連需要に復調の兆し。北中米自動車関連への需要は継続を見込む

東アジア

- 台湾・韓国でのスマホIT関連需要が一服するも中国メーカーによる設備投資が拡大
- 中国の景気減退による影響が広く波及しているものの、自動車減税の効果による設備投資に再開の動き
- 中国政府国家施策としてのEV生産増加に向けリチウムイオン電池増産の動き

日本

- 一部で今後の投資に懸念はあるものの、日本企業全般として業績・設備投資は堅調
- 輸送機器メーカーにおいては、新製品開発も継続的に堅調
- IoT設備投資に関連する画像センサーなどへの設備投資の動きに注目

東南アジア

- インドネシアでは停滞していた自動車販売台数が回復基調
- タイは、国王の崩御により先行きは不透明ではあるが、自動車販売は回復の兆し
- ベトナム、フィリピンは依然として、高い製造業の成長率を維持

北中米

- 北中米における自動車販売は堅調。米国政権交代によるNAFTA見直し可能性の見極めの必要はあるものの、メキシコにおける自動車生産と関連需要の拡大は当面継続を見込む

3. 中期経営計画概要

- 中期経営戦略に対応、グループ各社の自主性を高め市場対応力を高めるとともに、グループでの協働を進め、企業価値・株主価値の向上を図る

中期経営戦略

1 新規市場への販売と既存市場でのシェアUPによる売上拡大

- 北中米市場への販売拡大
- 東南アジアでの生産拡大とQ.C.D向上
- 中国での新エネルギー車の拡大等、政府の国策により活性化する市場への対応
- サービス体制の強化によるCSの向上

2 マーケットニーズへの対応

- 樹脂、成形機メーカーとの交流による新素材への対応
- 進化する自動車用部品及びIT関連機器市場への対応
- 環境負荷低減、省エネ対応製品の開発
- 顧客の生産性向上に貢献する製品の開発と販売活動
- 業界、地域で異なるニーズに対応し、特徴を生かした製品の開発と販売

3 経営基盤の強化

- 人材のレベルUPによる企業力の向上
- 収益力向上によりROE8%以上の確保
- コンプライアンス意識の徹底による健全な企業活動
- 社会変化に対応したコーポレートガバナンスの実現

中期経営計画概要

1 所在地セグメント戦略

- 日本・東アジア・東南アジア・北米の4拠点においてターゲット業界・重点販売製品・重点施策を策定

2 生産戦略

- 品質・信頼性向上
- 在庫管理強化
- コストダウン活動徹底

3 製品開発戦略

- 顧客満足を獲得できる新製品開発
- 市場ニーズに対応した製品開発

4 販売戦略

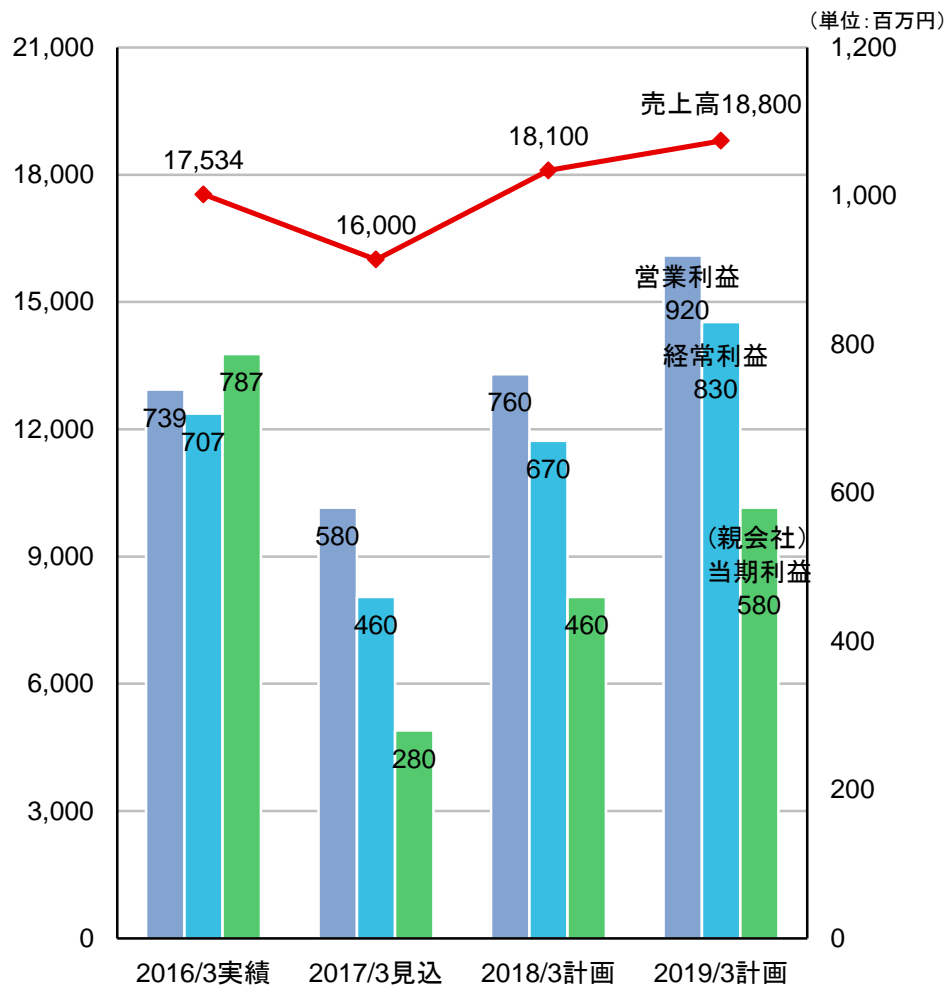
- 新製品投入による受注拡大
- 新規市場マーケティング／市場開拓展開
- 市場およびユーザニーズへの対応
- ターゲットの絞込み

5 組織・人事戦略

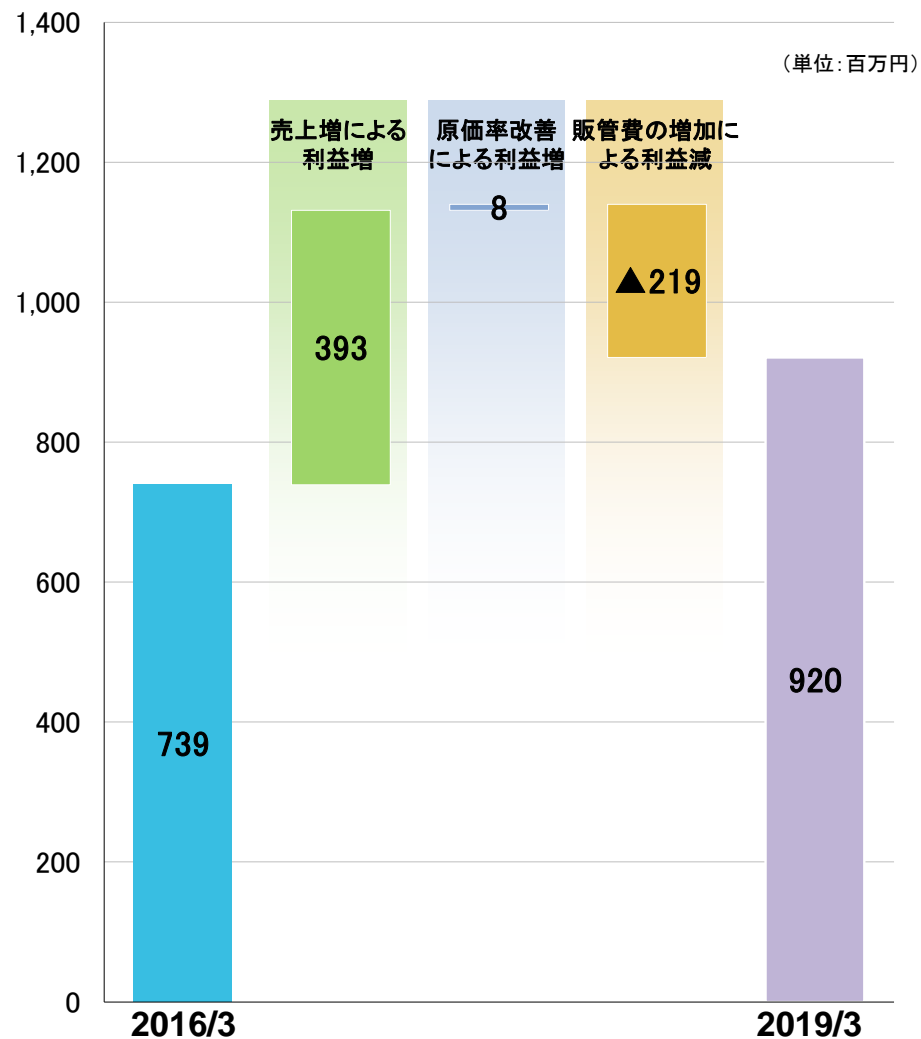
- 組織構造の構築／モチベーションアップ／CSR経営強化

4. 中期経営計画 取組状況

売上高、利益目標



営業利益増減要因



営業利益率	4.2%	3.6%	4.2%	4.9%
-------	------	------	------	------

5. 経営戦略トピックス

(1) 生産戦略 ①中国新工場の進捗状況

- 中国でのリチウムイオン電池部材の需要増に対応、既存工場を移転集約し能力増強させた新工場

川田機械製造(上海)有限公司新工場(2015年)



新工場概要



プラスチック成形加工機周辺機器及びシステムの製造

従業員数	約300名
工場敷地面積	19,230㎡
製造装置	粉粒体用装置、温度管理機器

環境保護、低炭素、省エネのキーワードを実現



LED照明

- 照明設備はすべてLEDを使用
- 大幅な電力量の消費削減



排気ガスと粉の回収設備

- 工場の中に、排気ガスと粉の回収設備を設置
- 生産用水は循環利用でき汚染物等排出なし



蒸気の廃熱による空調設備

- 研発棟の空調設備には蒸気の廃熱によるコージェネレーションシステムを採用

中国国内リチウムイオン電池部材市場対応



- 原油の対外依存度の上昇や大気汚染の深刻化等に歯止めをかける中国政府の国家政策として環境対応の**新エネルギー車**(PHV、EV車)の市場が拡大

搭載されるリチウムイオン電池の需要が拡大

中国新エネルギー車販売台数目標

現在
(2009年～2015年累計)

中長期イメージ
(2020年累計)

48.6
万台

500万台



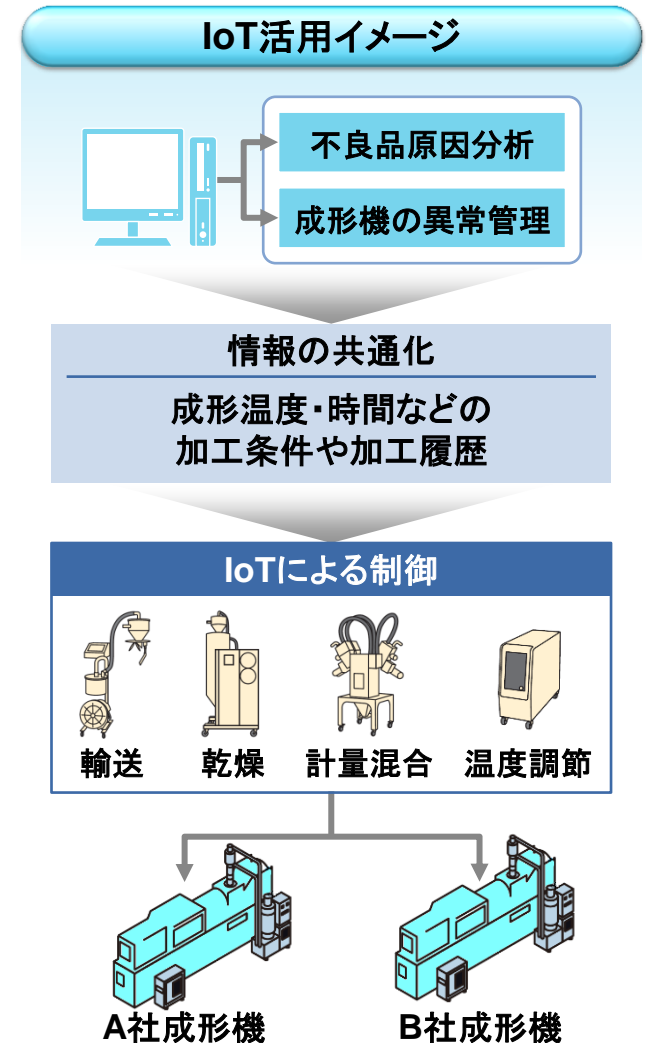
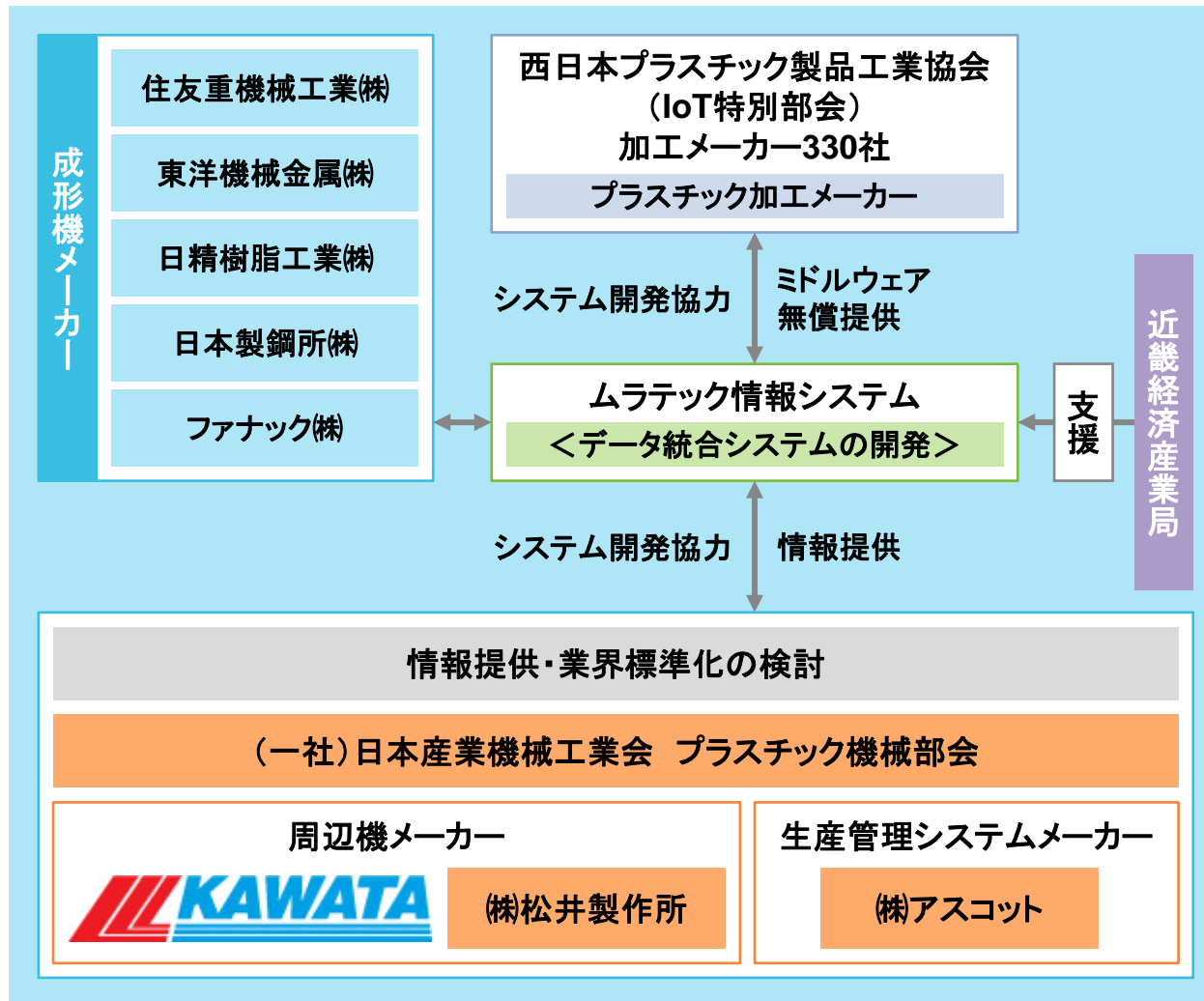
- 世界の中でNo1のシェアを誇る中国のリチウムイオン電池部材市場に対し、スーパーミキサーを始めとする粉体用機器の製造ラインを充実、拡販を目指す

5. 経営戦略トピックス

(1) 生産戦略 ②IoT生産への取り組み

- 近畿経済産業局と西日本プラスチック製品工業協会の取組

射出成形機用システム導入におけるIoT導入



(出所) 近畿経済産業局のプレスリリースをもとに当社作成

(2) 製品開発 ①新素材・新技術へのアプローチ

- 各業界のニーズに対応し、最適な用途に基づき、最適な製品を提供

自動車関連

- 精確な質量計測と乾燥精度の要求と省エネ対応

質量計量混合機
ACA-Zシリーズ



脱湿乾燥機
DFAシリーズ



脱湿乾燥機
DRGシリーズ



- 材料使い切りモードでロス低減
- 計量データを保持
- 豊富なラインナップ
- 汎用性No1ながらも特殊仕様にも対応
- 省エネ、省スペースを追求した脱湿乾燥機

高精度レンズ(スマホ・車載・画像センサー)

- IT・OA関連等高い乾燥レベルが必要なラインへの提供

熱媒体温度調節機
(金型温度調節機)
TWF-HHDNaシリーズ



窒素乾燥機
(連続式)
DOシリーズ



- 水媒体での高温制御によりクリーン環境に対応
- 窒素乾燥により材料の酸化劣化を防止

リチウムイオン電池

- 高精度の分量配合と混合精度への対応

粉粒体輸送計量機
オートスケール



高速流動混合機
SMシリーズ



- 粉体材料の計量・供給の自動化
- 高速流動により高い混合性能

容器・ペットボトル関連

- 大量・多品種生産への対応

DFAシリーズ
<自動節電オプション>



貯蔵サイロ



- 生産能力の変動に対し自動で乾燥能力を適性に制御
- 大能力生産に対応する原料の受け入れ装置

5. 経営戦略トピックス

(2) 製品開発 ② 新製品紹介

- 素材の高機能化、成形機の機能向上に対応し、逐次戦略商品を投入

大型レンズ車載用液晶ディスプレイ

窒素乾燥機DTシリーズ



窒素乾燥機の新シリーズ
除湿能力、処理能力をアップ

セルロースナノファイバー(CNF)

高速流動混合機
SMシリーズ



高速流動による分散技術

ロスインウエイト式
連続粉体供給装置
WS-100



高精度な定量供給技術

成形工場の生産性向上

質量計量混合機LC-50Z



究極の省スペース化
材料替え時の清掃時間が大幅に短縮

光学用製品、医療用製品

微粉分離除去装置FSシリーズ



原料に混じっている粉を除去

微粉・異物除去フィルターXFシリーズ



高品質な製品を安定的に生産

5. 経営戦略トピックス

(3) 販売 グローバルな生産・販売・サービス体制の確立

- 世界4極体制によりグローバル最適な販売・供給・サービス体制を確立

中国



- 日系企業～ローカル企業向け製品を開発、販売シェア拡大
- 電池業界向け製品の開発・販売

日本



- 自動車部品業界向け戦略製品を投入
- 容器・ペットボトル業界シェアアップ

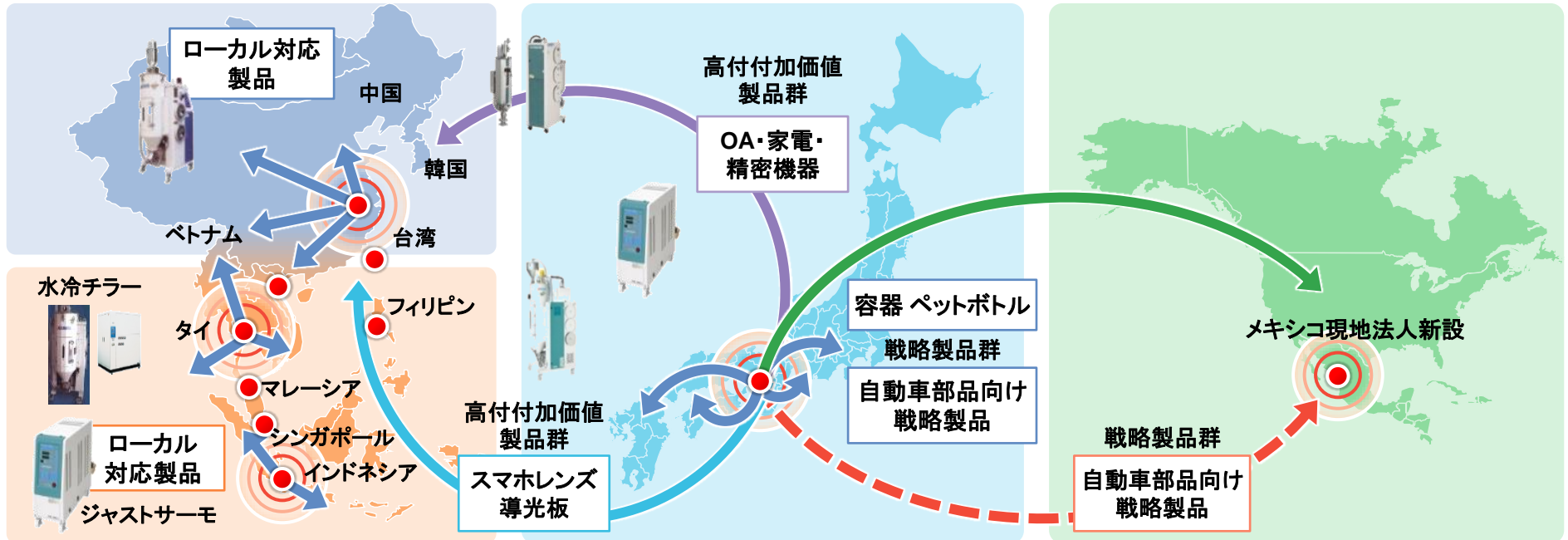
北中米



- 自動車部品業界向け戦略製品を投入
- 自動車部品製造増加に対応し、メキシコ販売法人を設立予定

東アジア

東南アジア



北米

東南アジア



- タイ・インドネシア工場の製品を安定供給、販売・サービス網の整備による販売の拡大

台湾／韓国



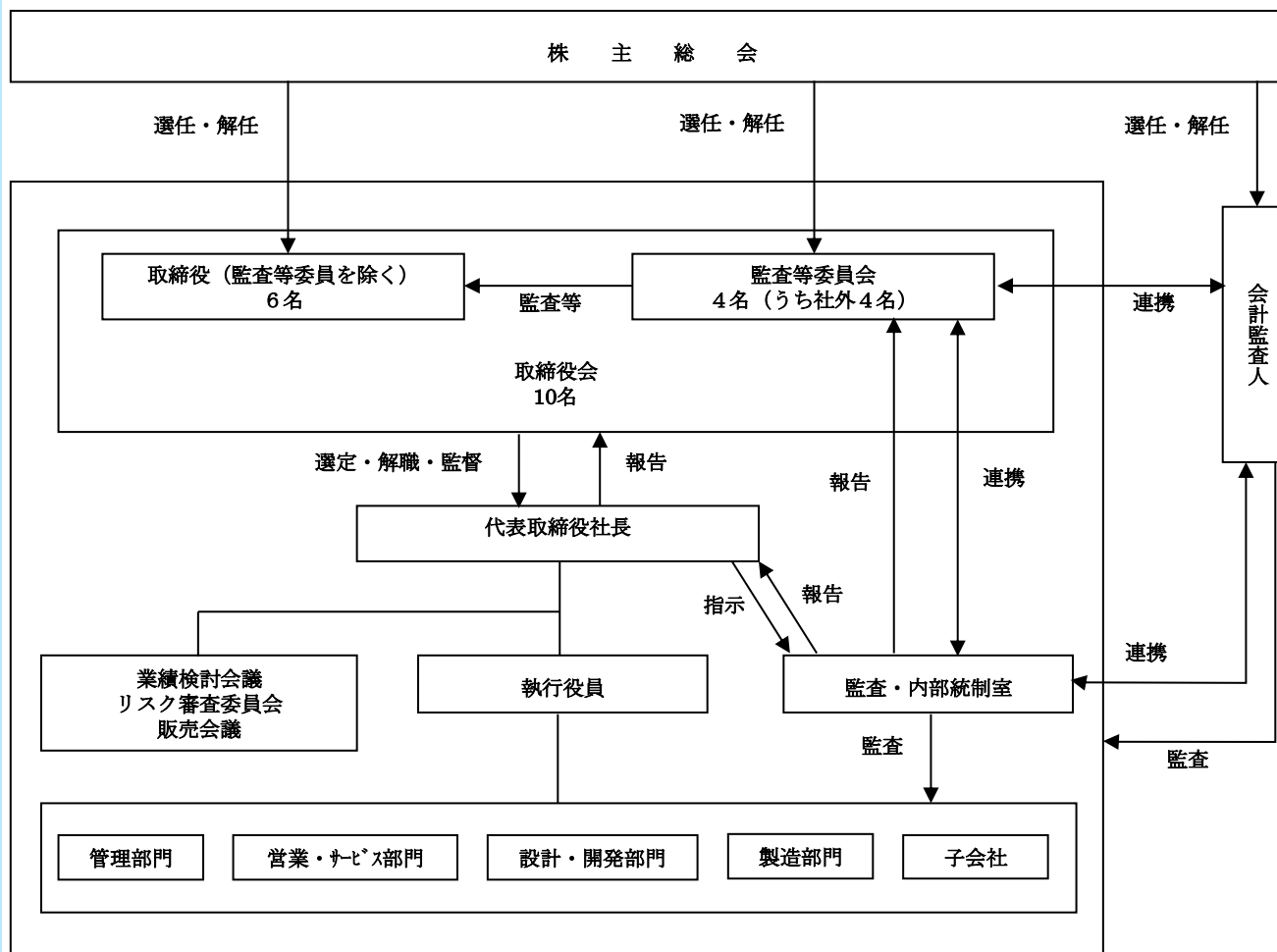
- 日本から台湾・韓国へスマホレンズ・導光板、OA・家電・精密機器向け高付加価値製品の販売を拡大

商号: KAWATA-MACHINERY MEXICO S.A. de C.V.
 所在地: メキシコ合衆国ケタロ州
 設立定: 平成28年7月
 資本金: メキシコ・ペソMXN18,500,000
 (日本円換算: 約1億2千万円)
 事業内容: プラスチック成形機周辺機器等の販売・据付工事及びアフターサービス業務

6.コーポレート・ガバナンス

- コーポレートガバナンス・コードに対する当社の基本的な考え方とその枠組み、運営に係る方針を定めた 「コーポレートガバナンス基本方針」を2016年6月29日に改訂
- 2016年3月25日取締役会で監査等委員会設置会社へ移行方針を決議、2016年6月29日に移行

コーポレート・ガバナンス体制



2016年6月29日より新体制

- 取締役(監査等員を含まない) 6名
- 監査等委員である取締役 4名
(内社外取締役4名)
- 取締役会のほか 業績検討会議、リスク審査委員会、販売会議を設置、社内取締役、執行役員等が参加
- 監査・内部統制室は、会計監査人、監査等委員会と連携をとって各部門及び子会社の内部監査及び内部統制監査を行う
- 監査結果は、代表取締役社長及び監査等委員会に報告
- 監査役会設置会社の監査権限は、原則として適法性監査に留まるが、監査等委員会の監査権限は妥当性監査にまで及ぶ
- 監査等委員会の独立性、株主総会での取締役の指名・報酬に関する意見陳述権の確保が図られている



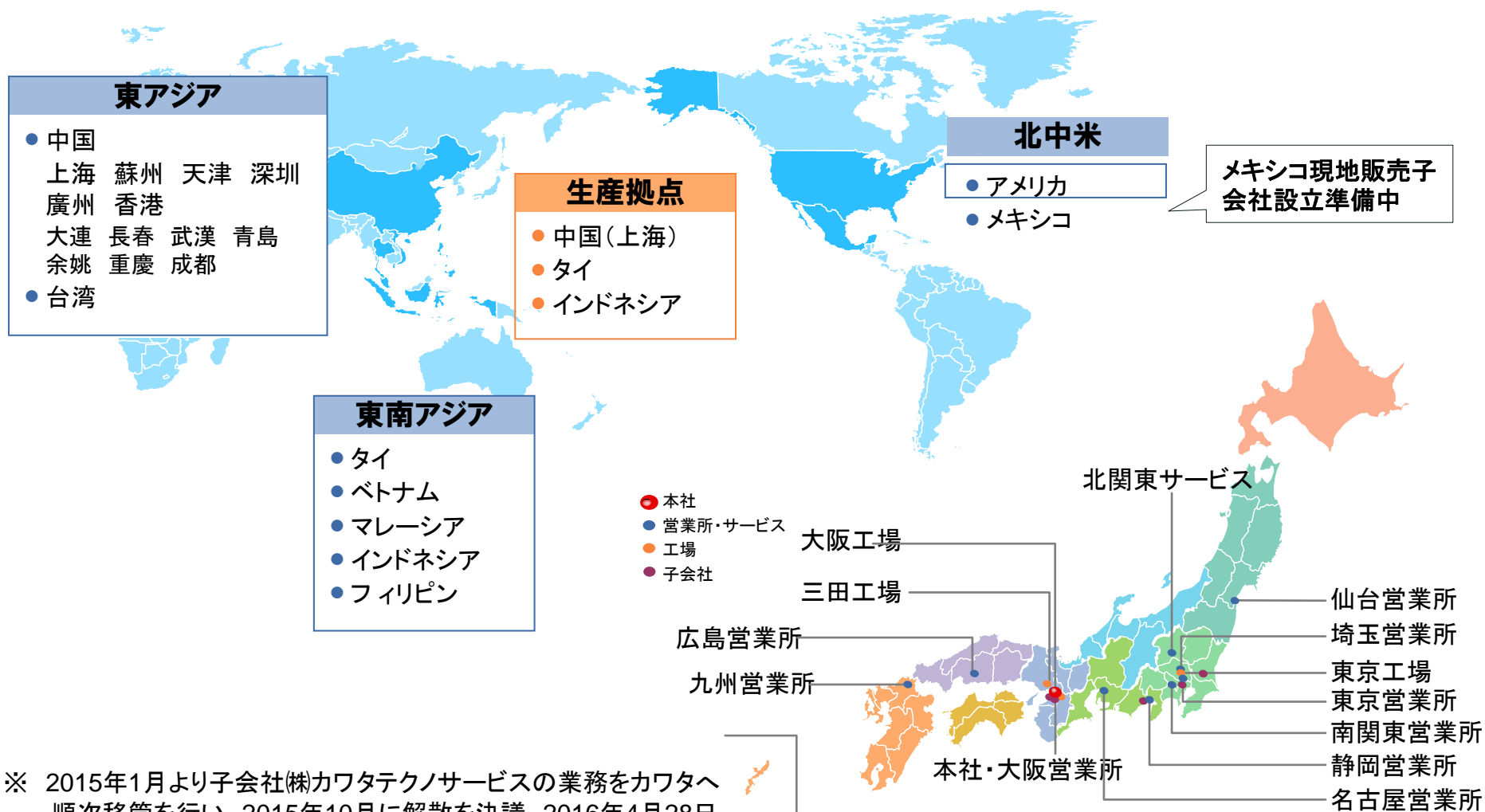
Appendix. I

事業ネットワーク
技術力の特徴
グローバル展開の状況



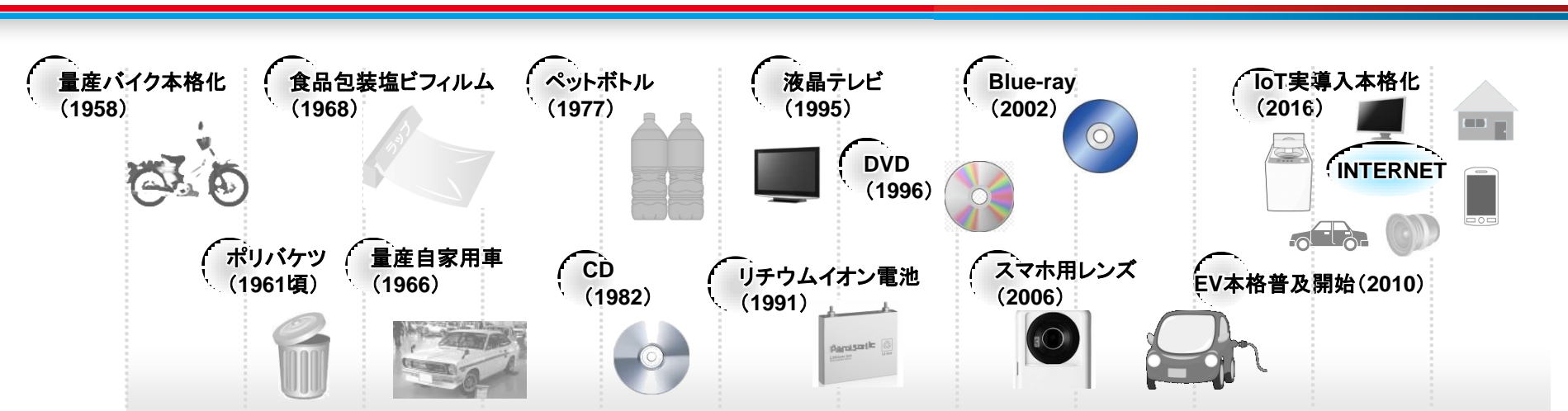
事業ネットワーク(国内・海外)

- 国内に11のカワタ営業所・サービス拠点／大阪・三田に生産工場を配置／国内子会社4社(東京1社、茨城1社、静岡1社、大阪1社※)
- 東アジア・東南アジア・北中アメリカに販売・製造ネットワークを展開・強化



※ 2015年1月より子会社(株)カワタテクノサービスの業務をカワタへ順次移管を行い、2015年10月に解散を決議、2016年4月28日に清算終了いたしましたので一社減となっております。

技術の沿革



1935	1951	1962	1970	1973	1983	1987	1996	2002	2012	2013	2014	2015	
創業		<p>混 ぜる</p> <p>■ 高速流動混合機 (スーパーミキサー) 開発</p>		<p>乾 かす</p> <p>■ 西独社と脱湿型乾燥機(チャレンジャー)の技術提携、生産開始</p>			<p>乾 かす</p> <p>■ チャレンジャー特許確立。CD成形用樹脂乾燥システム</p>		<p>計 る</p> <p>■ 連続粉体供給装置 (ウイングスケーラー) を開発</p>		<p>乾 かす</p> <p>■ 窒素乾燥機 DO 開発</p>		
		<p>運 ぶ</p> <p>■ 吸引輸送機(オートローダー)実用新案</p>											
		<p>計 る</p> <p>■ 川田製作所法人改組 ■ 押出成形機を開発</p>											

技術力の特徴・業界シェア・順位

- 国内プラスチック製造装置合理化システムにおける技術の優位性・特許取得は主要製品におけるトップシェア確保を可能に

液晶画面関連(フィルム、シート)等

- 液晶画面の大型化、多機能化に伴い、高品質光学フィルム需要の伸長下、**クリーン技術**を駆使
- 材料の貯蔵から輸送、除粉、乾燥までトータルな成形支援システムを提供



保有特許10件/
出願(公開中)8件

レンズ関連(携帯電話関連レンズ等)

- **窒素乾燥技術**を中心に、酸化防止や安定した水分率管理が**できる乾燥システム**および高精度な金型温度調節機を提供
- 不良率の低減と高品質製品の生産に貢献



保有関連特許10件
出願(公開中)7件

ペットボトル関連(ペットボトル等)

- 豊富な乾燥ノウハウと革新的な発想に基づき、**樹脂の加水分解・酸化劣化を抑制**
- 必要最小限のエネルギーで効率的な乾燥を実現



特許出願中1件

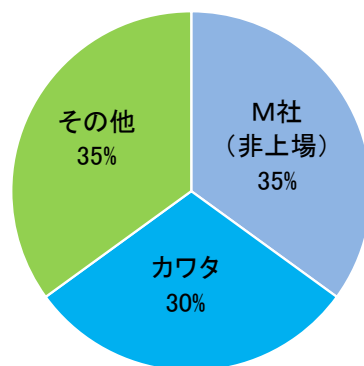
プリンター関連(カラートナー等)

- 半世紀以上も前に生産を開始したヒート商品スーパーミキサーをはじめ、当社の**粉体貯蔵、輸送、高精度計量、高分散混合技術**はお客様の粉体関連事業をサポート



保有関連特許8件
出願(公開中)8件

当社コアビジネス国内業界シェア (売上合計300億円)



自動車関連(ハンドル・バンパー、部品等)

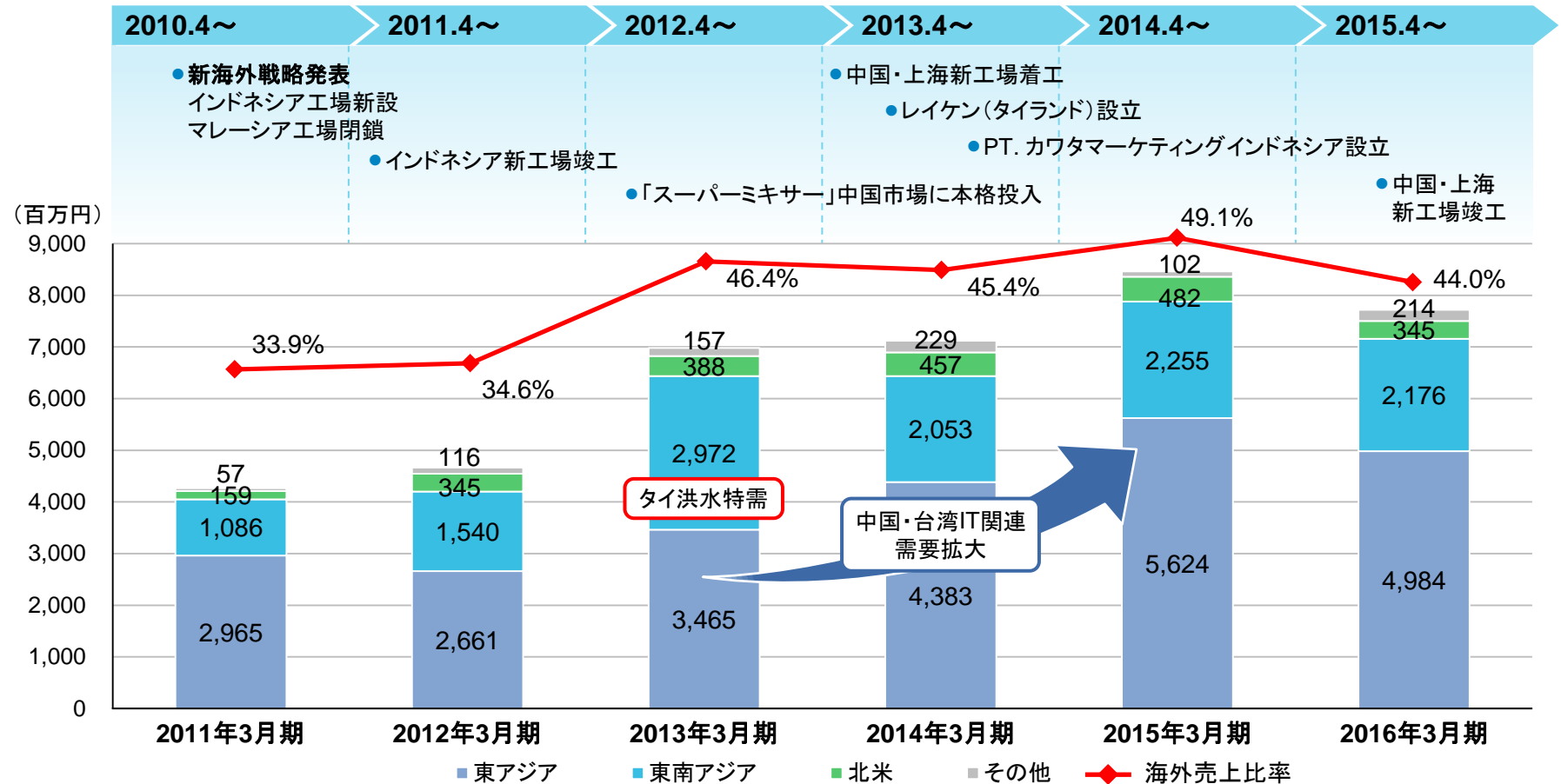
- ヒット商品の計量混合機オートカラーや脱湿乾燥機DFAなど、充実した**省エネ・省力化機器**をラインアップ
- 自動車関連成形業界の生産性の向上に貢献



保有特許14件
出願(公開中)14件

グローバル展開の状況

- 2010年3月期以降海外販売が急拡大、新興国の中間層増大に伴うプラスチック成形機需要に対応し、生産・製品開発・販売を東アジア・東南アジア各拠点に配置



人員数

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
東アジア	275	285	286	287	293	289
東南アジア	63	68	85	104	125	141
北米	1	2	1	1	1	1

(人)



Appendix. II

製品紹介



乾燥機①

- 豊富なラインナップで、様々な樹脂ペレットに最適な乾燥状態を創出。光学レンズ・光学ディスク成形にも対応。

乾燥

脱湿乾燥機
DFAシリーズ



1次・2次輸
送を標準装
備

脱湿乾燥機
DAAシリーズ



低露点-40℃、
熱の再利用機構
を採用

脱湿乾燥機
DRCシリーズ



究極の省エネ
省スペース
低価格

熱風乾燥機
ADAシリーズ



メンテナンス性を
徹底追及

カワタ独自の技術で、
高精度乾燥と抜群の
操作性を実現。

減圧乾燥機
DVシリーズ



手投入モード採用、
2次輸送機能を
標準装備。

熱風乾燥機
ADFシリーズ



乾燥機②

- 製造現場の様々な問題に解決に役立つ、カワタの提案機器

特定高機能樹脂に対応。乾燥ホッパ内に高濃度窒素ガスを充満、低酸素状態で加熱乾燥を行い、材料の酸化・黄変・劣化を軽減。主に光学部品成形に対応

乾燥



計量混合機



- 精確な計測、確実な供給が可能なカワタの計量混合機

計量 着色 混合

質量計量混合機 ACA-Zシリーズ

輸送一体型で、
従来機より
70%省スペース



質量計量混合機 ACA-dシリーズ

基本性能を進化させた、
計量混合機の
新スタンダード



質量計量混合機 ACA-bシリーズ

計量精度は
 $\pm 0.25\%$ 以下。
4種混合
(5・6種も可)



究極のシンプル
構造を具現化

質量計量混合機 LC-50Z



成形機にシンクロ
& MB連続供給
色ブレ無し

質量計量供給機 SACシリーズ



機上式、超コンパクト

容量計量混合機 AC-30Cシリーズ

温度調節機①

● 30年・40カ国・7万台の実績・世界トップクラスの信頼、カワタのロングセラー温調機

温調

熱媒体温度調節機
(金型温調機)
TWF-LDaシリーズ

水用MAX.95℃。
ロール・ジャケット温調用
低圧タイプ、
間接冷却タイプもあり。



熱媒体温度調節機
(金型温調機)
TWK-MDaシリーズ

水用MAX.120℃。



熱媒体温度調節機
(金型温調機)
TWF-HHDNaシリーズ

水用MAX.160℃。
180℃タイプ、
ブースターポンプ
内蔵タイプもあり。



水用MAX.160℃、
間接冷却タイプ。

熱媒体温度調節機
(金型温調機)
TWF-HHKNaシリーズ



油用MAX.160℃

熱媒体温度調節機
(金型温調機)
KCO-Laシリーズ



HHDNシリーズの
省スペース
コンパクトタイプ。

熱媒体温度調節機
(金型温調機)
TWF-05006HHDNa/B-C

温度調節機②

- 株式会社レイケン(カワタ100%子会社)商品も多数ラインナップ、シナジー効果を最大限に発揮

温調



熱媒体温度調節機
(金型温度調節機)
KCO II/III
-MN/HN/H/HH
シリーズ

油用200~320℃。



大流量温度調節機
KCT II/IIIシリーズ

水用MAX.120℃。
流量200~600L/min。



負圧式
金型温度調節機
KCL IIシリーズ

水用60℃。
負圧式で細部まで
スムーズに温度管理。



水用7~30℃。
低温度帯をカバー。
ハイサイクル・高品質
安定成形に最適。

金型冷却機
KCW III-fzシリーズ



水用10~95℃。
チラーから温調機までの
幅広い温度域を
1台で対応。

金型冷温調機
KCW-Hεzシリーズ



急温急冷
システム
TESシリーズ

金型への媒体温度を高低間で
瞬時に切替。
ウェルドレス、精度、光沢・強度UP等。

輸送機・サイロ・粉砕機



- 成形工場の無人化・FA化を実現する、様々な成形機用機器

輸送

吸引輸送機 AL/VLシリーズ

成形機直結タイプ、
多用途対応タイプ、
2方向タイプ。



粉砕・リサイクル

低速粉砕機 KGAシリーズ

エンプラナー用
低速粉砕機。
メンテナンス性抜群。



貯蔵

◀Hタンク



フレコン受けタンク▲



◀サイロ

原料貯蔵装置 タンク各種

Hタンクは50L～1000Lを標準化。
架台付、大型サイロも対応。

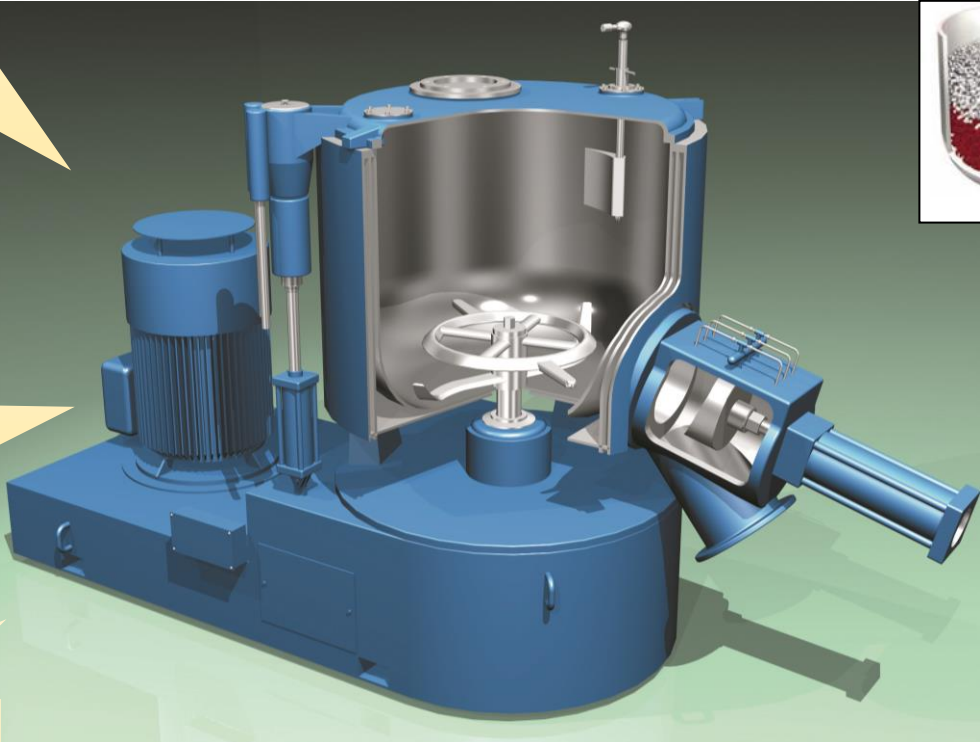
混合機①

- カワタの独創的なアイデアが凝縮された、どの素材、業種にも妥協のない高速流動混合機「スーパーミキサー」

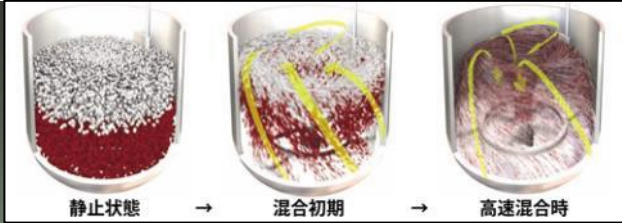
高い汎用性
様々な素材に対して、
様々な処理を施す事が可能。
【混合】【分散】【造粒】【粉碎】
【乾燥】【コーティング】
【表面処理】etc…

サイズが選べる
目的と処理量に応じて
機種バリエーションが豊富。

細かなカスタマイズ
多彩なオプション対応が可能。
【耐磨耗仕様】【減圧仕様】
【チョッパー】【加熱ユニット】
【冷却ユニット】etc…



早く、安定した処理
短時間で均一な混合が可能。



ミキシングのイメージ↑

手入れが簡単
清掃性、メンテナンス性に
配慮した機械構造。



用途別にオリジナル設計された各種攪拌羽根。→

混合機②

- 目的と処理量に応じた豊富な機種バリエーション

SMPシリーズ
【ピッコロ】

コンパクト卓上タイプ。



SMV-Bシリーズ

試験・研究に最適な
キャスト付10L、20Lタイプ。



SMBシリーズ

単純混合や、混合分散
などのブレンド専用機。



SMGシリーズ

強力攪拌・混合作用、
大規模生産向汎用タイプ。



SMNCシリーズ

冷却と混合の両面を考慮。



SMVシリーズ

SMG/SMGの
インバータータイプ。



SMCシリーズ

SMGと組み合わせて
使用するグレーションタイプ。



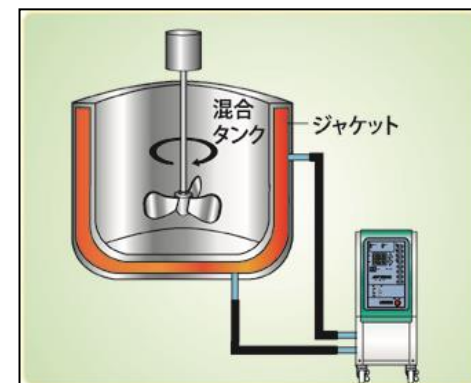
SMシリーズ

医薬・食品対応タイプ。



温調機と
組み合わせて

ジャケット温調用の温調機を
ラインナップしています。



粉体関連機器

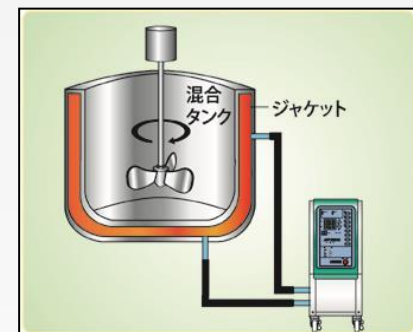
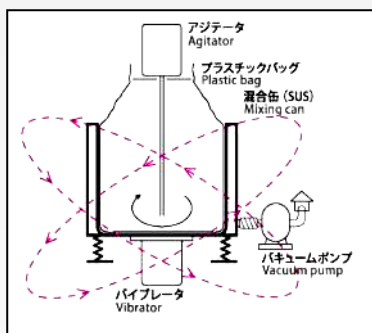
- カワタが蓄積してきたコア技術、『混ぜる』『運ぶ』『計る』『乾かす』『温度管理する』が更に進化

高速浮上混合機
SFC-50
【スーパーフローター】

三次元運動による高精度混合機。
粉・粒・液体の安定した混合が可能。

スーパーミキサー
SMシリーズ

目的と状況に応じて多数の機種をランナップ。
ジャケット・ロール温調に、
温調機との組み合わせも可能。



高圧圧送粉体輸送装置
プロータンク

粉粒体輸送計量機
VP/VEシリーズ
【パウダーローダー】

ロスインウエイト式
連続粉体供給装置
WS-100【ウイングスケーラー】

粉粒体輸送計量機
オートスケール

輸送物（粉体）の物性により
最適な輸送環境
を選定。

混合済品も分離しにくい、
吸引式高濃度粉体輸送装置。

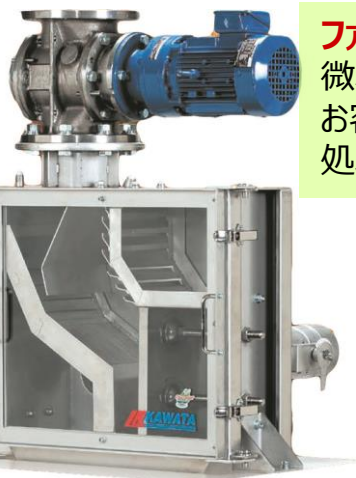
計量精度 設定値の±0.5wt%を実現。
さまざまな粉体の高精度計量に対応。

吸引輸送をしながら計量。
微粉末の輸送
・計量も可能。



その他【アクセサリ等】

- 製造現場の様々な問題に解決に役立つ、カワタの提案機器



ファインズセパレーター

ファインズセパレーターやゼノフィルターで
微粉・異物を高効率除去。
お客様の既存の設備や、
処理量に合わせてご提案致します。

ペレットに
混入した
微粉や異物を
取り除きたい。



ゼノフィルター

原因不明の
成形不良を減らし
作業を
効率化したい。



インターセプター

成形機のホッパー口に取り付け、
水分・ガスの再吸着を防止。
成形材料の条件が安定します。

黒点や黄変
のあるペレットを
除去したい。

高精細ペレット色彩選別機

高精細選別が可能な
高解像度カメラを搭載。
動作状況もパソコンで
モニタできます。



本日はありがとうございました

粉体・粒体加工技術をベースに 新素材開発の未来を切り開く

IRに関するお問い合わせ先

株式会社カワタ 総務人事部

電話: 06-6531-8211

e-mail: ir6292@kawata.cc

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。